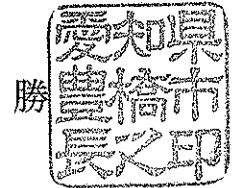




19豊道建第69号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長
宮田 年耕 様

豊橋市長 早 川



中期的な計画の策定にあたっての意見について（回答）

日頃、豊かな市民生活の実現と地域発展の基盤である道路整備に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成19年4月2日付、国道企第114号にてご依頼のありましたみだしのことについて、別添のとおり提出いたしますので、中期計画の策定に向け何卒ご反映いただきますようお願い申し上げます。

中期計画に関する意見

○ 東三河地域として

- ・本市を含む東三河南部地域は本州のほぼ中央に位置し、製造品出荷額や農業産出額において常にトップクラスを維持しており、全国的に有数な産業集積地であることから、その潜在能力を最大限に引き出すのに十分な投資効果が見込める地域である。
また、三河港は自動車関連を中心に発展を続けているが、こうした物流の根幹であるところの高速道路へのアクセスが弱いことが最大の課題であり、我が国の国際競争力を向上するためにも物流機能の向上がぜひとも必要である。
- ・そのため、昨年、東三河南部地域4市3町の行政および経済界が一体となって「三河港周辺地域産業幹線道路ビジョン」を作成し、国・県に提案しており、ぜひともこれを地域の総意として今後の道路整備に反映していただきたい。
- ・現在、国において国道23号バイパス（名豊道路）が地域の新たな交通体系の柱として整備が進められており、早期の整備をお願いしたい。
また、今後の地域の物流を支えるため、この国道23号バイパスを基軸とした道路ネットワークの創設・強化が最重要課題であり、「三河港周辺地域産業幹線道路ビジョン」に提案した各幹線道路の整備をぜひともお願いしたい。
- ・東海、東南海地震の発生が危惧される中、災害発生時の物資輸送路の確保のためにも災害に強い道路づくりに配慮する必要がある。

○ 今後の道路整備について

- ・地域の意見を道路整備計画へ反映
⇒三河港周辺地域産業幹線道路ビジョンの提案
- ・費用対効果が高い道路は重点的に整備を進めるべき
特に、国の観点から重要な地域・路線へ重点的に投資すべき
- ・自治体が再編される中、広域的な医療・消防などの連携強化のためにも、効果的な道路網整備が必要
- ・維持管理に関しても効率的に勤めるべき。（橋梁の延命化等）
⇒維持管理費を含めたトータルコストで比較し、徹底的に効率化。
- ・既存ストックの有効活用のためにも、有料道路の低料金化などにより長距離輸送車両が市街地を通過せず、高速道路を利用しやすくすることも必要。